



南極の氷がやってきた!



▲南極の氷から出る音に耳をすます児童

阿万小学校で南極の水体験学習
海上自衛隊砕氷艦「しらせ」が持ち帰った「南極の水」が7月3日、阿万小学校に届けられ、4年生児童35人が水の体験学習をしました。
自衛隊兵庫地方協力本部の隊員の方から「北極の水は雪から出来るが、南極の水は雪から出来る。南極の氷がすべて溶けると海面が70〜90メートル上昇する」などの説明を受け、子どもたちは興味深く

聞いていました。
また、約3万年前の水層から採取した氷の塊を実際に触って、その感触を確かめました。氷の中には数万年前の空気が気泡となって閉じ込められているので、コップに砕いた氷と水を入れると、プチプチと音を立てながら溶けました。子どもたちは、太古の空気が弾ける音を聞いたり、臭いや味を確かめたりして、地球環境の神秘に触れる貴重な体験学習となりました。

ミャンマー・四川へチャリティー活動

7月7日、スポーツクラブ21なりあい(八木地区)のメンバーが、ミャンマーや四川の災害被災地にダンボール19個分の支援物資を送りました。
今回送られた物資は、6月末のチャリティー・グラントゴルフ大会で提供を呼びかけられた品々。大会は雨天中止となりましたが、支援活動には20人を上回る家族連れらが

参加。下着やタオル、ズボン、Tシャツなど多数の衣料品が集まりました。
同クラブ会長の齊藤茂さんは、「被災地の方々には少しでも役に立てられたらうれしい」と話していました。
「何かできないだろうか」の一言から集まった物資は、日本救援衣料センター(神戸市)を通じて被災地に届けられました。



▲たくさんの支援物資を集めたスポーツクラブ21なりあいの皆さん

夏のレジャーシーズン到来



▲阿万海岸海水浴場の清掃作業を行う地元の子どもたち

阿万海岸海水浴場で清掃活動
夏のレジャーシーズンを迎えました。市内には自然を満喫できるキャンプ場や海釣り公園などの体験スポットや、水質の良い慶野松原や阿万海岸、沼島など5つの海水浴場があり、海水浴場だけで、期間中約15万人もの観光客を迎えています。
7月6日、阿万海岸海水浴場の海開きに合わせ、早朝、地元・阿万小学校の社会体育のクラブに通う子どもたちとその保護者ら150人が海岸の清掃を行いました。

これは、阿万小学校少年少女スポーツ育成会(新地正会長)の主催で、温かく育てられている地域に、お礼を込めて行われたもので、1時間にわたって空き缶やペットボトルなど、25袋分のゴミを拾いました。
この後、海水浴場の安全祈願祭も行われ、川野四朗副市長から「地元の方々の手により美しく保たれています。今年は、美しい浜に上陸するウミガメも来てくれました。これからも憩いの場として安全で楽しく利用していただければ」と挨拶がありました。

癒しの「アイガモ農法」

北阿万新田中の新田洋子さん宅では、アイガモ農法に取り組んでいます。現在、水田では、アイガモがかわいらしく泳ぐ姿が見られ、近所の子どもたちから高齢者まで人気を集めています。
新田さんは、「食の安全安心」や「地産地消」を図ろうと、4年前からこの農法に取り組まれています。アイガモが田んぼの中を動くので、草

新田さん宅で有機農法を実践

は生えず、除草剤は不要。虫はエサとなるので、消毒も不要。肥料はアイガモの糞で、すくすくと稲が育ちます。
現在、一反半の田んぼにアイガモ25匹を放し飼いにしており、新田さんは「アイガモの世話に手間がかかりますが、毎日元気に泳いでいる様子を見ると癒されます」と話していました。とれたお米はおいしいと好評だそうです。



▲水田を泳ぐアイガモ



▲写真やイラスト、解説が盛りだくさんの冊子

淡路島まるごとミュージアム 県民局が冊子発行

淡路島に埋もれている豊かな自然や産業、文化など「宝」ともいべき地域資源を再確認して、さらに知識を深めてもらおうと、淡路島の魅力をまとめた冊子「淡路島まるごとミュージアム」を淡路県民局が発行しました。A4版全24頁、カラー。県担当者は「島民一人一人が島の魅力を知って、内外にアピールし、活性化につながれば」と話しています。冊子の配布は島まるごとミュージアム課(☎22-3541)まで。

おめでとう



▲授賞式で金賞を受け取る浜辺さん

6月にオーストリア・ウィーンで開催された世界的な食品品評会「モンドセレクション」で淡路玉ねぎ焼酎「淡路のひだまり」が昨年度に続き今年度も金賞を受賞しました。
淡路産の新鮮な玉ねぎを使ったもので、秋から春にかけてしか生産できないもの。甘みと香りにすぐれた淡路玉ねぎの良さが際立っているのが特徴です。開発に携わった浜辺幸志

消防団大健闘 操法大会

さん(福良)は、連続受賞の喜びとともに来年も出品して3年連続金賞受賞で獲得できる国際優秀品質賞を受けたいと話しています。
7月20日、淡路地区消防操法大会が三原川河川公園で行われ、南あわじ市大会で優勝を収めたポンプ車の部の灘第2分団第2部と、小型ポンプの部の賀集第1分団第1部が出場。
両分団は、それぞれの部で優勝を果たしました。8月3日、三木市で行われる県大会へ出場します。



▲賀集第1分団第1部の皆さん



▲灘第2分団第2部の皆さん

ウインズ・きららで夏祭り

500人が参加

神代浦壁にある障害者の施設「ウインズ・きらら」で7月12日の夜、賑やかな夏祭りが行われました。当日は、親子連れら約500人が来場。昼の暑さも和らいできた会場では、ヨーヨー釣りや射的など夏の風情を感じさせる屋台で子どもたちの遊ぶ姿が見られました。

この祭りは、今年で9回目。毎年、高校生による吹奏楽や和太鼓の演奏、社会福祉協議会からのボランティアなど、多くの人々が楽しい夏のひとときを演出しています。



▲大勢の方が集まった場内